

はじめに

本紙は、働くDBのAPI連携についてまとめた資料です。

はじめに

働くDBのAPI連携には大きく2つの方法がございます。

- ①働くDBのAPIを使用する方法(以降【Web API連携】)
- ②外部システムのAPIを使用する方法(以降【外部システム連携】)

Web API 連携

詳細は次ページ以降をご参照ください。

外部システム 連携



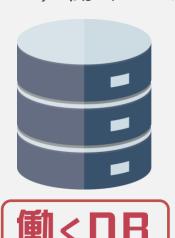


Web API連携について

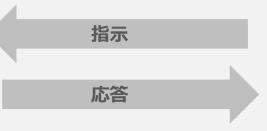
働くDBのAPIを使用します。

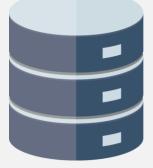
外部システムから働くDBに対して、インポート予約指示*1)と エクスポート指示*2)、レコード登録・更新・削除・参照を行う ことができます。

- *1) 働くDBにインポートします。
- *2) 働くDBのレコード情報をエクスポートします。



- ・CSVインポートAPI
- · CSVインポート状況確認API
- ・CSVIクスポートAPI
- ・レコード登録API
- ・レコード更新API
- ・レコード削除API
- ・レコード参照API





外部システム

はじめに

Web API 連携

外部システム 連携



Web API連携の設定方法

詳細は【働くDB】API連携仕様書 をご参照ください。

はじめに

Web API 連携

外部システム 連携

活用事例

Web API連携の実行方法

外部システムからAPIを実行して頂きます。





外部システム連携について

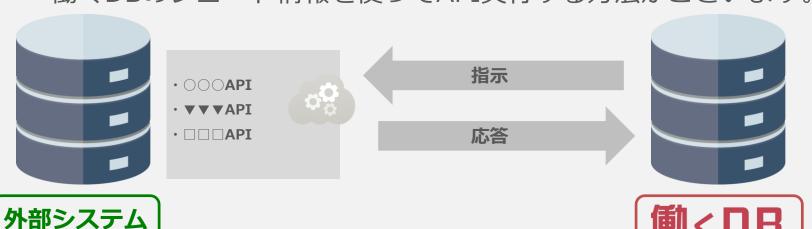
外部システムのAPIを使用します。

働くDBから外部システムに対して、インポート予約指示などを 行うことができます。*1)*2) はじめに

Web API

連携

- *1) 外部システムのAPI仕様に準じます。
- *2) 働くDBのレコード情報をCSVデータで送る方法と、 働くDBのレコード情報を使ってAPI実行する方法がございます。



外部システム連携



外部システム連携の設定方法

詳細は【働くDB】外部システム連携設定手順書 をご参照ください。

はじめに



連携

Web API

外部システム 連携



外部システム連携の実行方法

*1)働くDBのレコード情報をCSVデータで送る場合 働くDBの一覧画面上のサブメニューより実行します。



*2)働くDBのレコード情報を使ってAPI実行する場合 働くDBの一覧画面上のボタンまたはプルダウンより実行します。



下記での実行はできません。

- ・タイマー実行
- ・自動処理設定画面からの即時実行
- ・*1) のようなサブメニューからの実行
- ・定型メール受信時の実行

はじめに

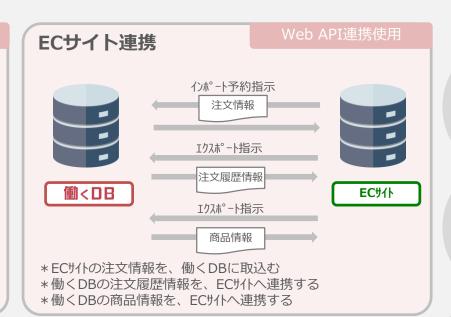
Web API 連携

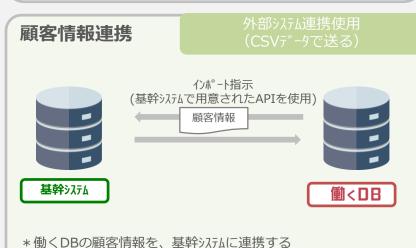
外部システム 連携



活用事例

顧客情報連携 エクスポート指示 顧客情報 または 心术°-ト予約指示 顧客情報 働<DB 基幹システム *基幹システムの顧客情報を、働くDBに取込む または





*働くDBの顧客情報を、基幹システムに連携する



はじめに

Web API 連携

外部システム 連携